

## 図書館だより

### 2013 9月

### 今月の行事

- ◆ 芭蕉と一茶 10日(火) 午前9時30分～ 2階 講習室にて
- ◇ おはなしの会 毎週土曜日 午前11時～ えほんコーナーにて

## 祝発刊！堀直虎の歴史小説

—「恐れながら、申し上げます」

若年寄兼外国惣奉行という小藩藩主としては異例の要職に就いた、須坂藩主・堀直虎。しかし、朝廷への恭順か抗戦かで揺れる江戸城中で切腹し果てる—。

記録には「諫死」とのみ。いったい、誰に何を諫めたのか？英知を備えた若き大名が選んだ矜持とは！？—

貸出中の場合は予約もできます。  
ぜひご利用ください。

江宮隆之著 祥伝社  
將軍慶喜を  
叱った男 堀直虎

出版記念講演会  
『最期の將軍慶喜を叱った男  
堀直虎』

日時：10月5日(土)

午後2時から4時30分

場所：中央公民館 3階ホール

講師：江宮 隆之氏

参加費・申込み：不要

公益社団法人読書推進  
運動協議会が推薦する、  
“敬老の日に薦める本”を  
中心に、おすすめの本を  
特集コーナーにて展示・貸  
出いたします。

読書は頭の体操になり心の栄養となります。  
新しい知識をどんどん入れて、心の中から若  
返りませんか。

『老いかたレッスン』渡辺淳一著 新潮社  
『また次の春へ』重松清著 扶桑社 ほか

敬老の日  
読書の日  
おすすめ  
2013

### PICK UP BOOKS

武将といえば真田幸村

お茶と野沢菜はセットだ

ふるさと発見！**信州あるある**

(加瀬清志編著 しなのき書房)

東京から信州に移り住み20年の著者が、  
「信州っぽい」と感じたことを集めた一冊。

他県では珍しいのに地元にいると気づかない、  
信州人特有の事柄を、食べもの・生活の常識・  
企業などに分けて紹介。約300項目のうち  
皆さんはいくつ「あるある！」と頷きますか？

食べるリンゴはもらいもの

冬の朝、最初の仕事はアイドリッグだ

# 一般向け新刊案内9月

## 小説

<b>アクティブメジャーズ</b> [今野敏] 警察庁警備局の情報分析室「ゼロ」の研修から復帰した倉島警部補の新たなミッションは、公安外事課のエースの身辺調査だった。同じ日、新聞社の編集局次長が謎の死を遂げ…。(文藝春秋)	<b>正妻 上下</b> [林真理子] わしは將軍にはならん。どんなことがあってもならぬつもりだ。江戸時代、最後の將軍となった徳川慶喜に嫁いだ公家の姫、美賀子。その生涯を通して、徳川幕府の崩壊を描く長編。(講談社)	
<b>襲名犯</b> [竹吉優輔] 14年前、ある地方都市で起きた連続猟奇殺人事件。逮捕後、その美貌と語り口から、男には熱狂的な信奉者も生まれたが、やがて死刑が執行される。彼の死は始まりに過ぎなかった。江戸川乱歩賞。(講談社)	<b>完本寺内貫太郎一家</b> [向田邦子] 東京谷中で三代続く「寺内石材店」の主人、貫太郎。口下手で怒りっぽいくせに情に篤い貫太郎の目下の悩みは…。あの向田邦子の代表作の、未完だった後半部分をドラマの脚本をもとに「パライズ」。(新潮社)	
《書名》	《著者名》	《出版社》
グラウンドの詩	あさのあつこ	角川書店
離れ折紙	黒川博行	文藝春秋
ホテル・モーリス	森晶麿	講談社
松井須磨子物語	小沢さとし	ほおずき書籍
断固として進め	江上剛	徳間書店

## その他

《書名》	《著者名》	《ジャンル》
誰も戦争を教えてくれなかった	古市憲寿	歴史
日本水族館紀行	島泰三	生物
ほめる力	立川談四楼	社会学
教科書を飛び出した数学	藤川大祐	数学
放射線と冷静に向き合いたいみなさんへ	ロバート・ヒーター・ゲイル	工業

## 信毎選書シリーズ

<b>悩むこと生きること</b> [姜尚中] 喪失を乗り越え、ときにやさしく、ときに鋭く、いのちのこと、日本や世界のことを綴ったコラム集。	<b>知っておきたい長野県の日本一</b> [加瀬清志] 日本一は、平均寿命だけじゃない！自然景観から文化まで、さまざまな分野の長野県の日本一を紹介・解説。	<b>残したい方言</b> [出野賢司] 長野県内各地のいつまでも残したい、使いたい方言を、人々の生活の様子や風物詩などを交えて紹介する。
---	--	---

\* 予約多数の場合、お時間がかかりますのでご了承ください。

**貸出し中の場合は予約ができません**